

横浜市港南区地区センター
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録

開催日時	令和3年8月16日（月） 11時20分から12時15分まで
開催場所	区役所 602 会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、小川委員、小後摩委員、谷本委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	はじめに（横浜市下野庭スポーツ会館の指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会> ・スケールメリットを生かし、管理運営する10施設及び区民活動支援センター間の情報共有及び情報交換を行い、業務改善を行っていく。 ・通常は一人配置の施設となるが、事務局のバックアップ及び近隣施設との連携により、安全安心な運営を行う。 ・スポーツ施設であるため、距離を取れる種目での利用をお願いし、新型コロナウイルス感染症に対応したつながりづくりの場を提供していく。 ・区内で無料で使用できる唯一のスポーツ施設として、地域ニーズに応えた運営を行う。 ・魅力ある自主事業を提供し、利用者サービスの向上を図る。 ・近隣の区民利用施設等や区民活動支援センターと連携し、施設のPRに力をいれ、利用促進につなげる。 ・魅力的な自主事業により、参加者数の増によって自主事業収入を増やすとともに、物品販売の範囲を広げて雑収入の増加も目指す。 2 審議 第4期横浜市下野庭スポーツ会館の指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定した。 【委員意見】 ・様々な事業を実施する具体的な提案になっており、利用者増に期待できる。 ・運営目的を把握し、趣旨にのっとった運営がなされており、地域との連携もできている。 ・交流が広がるように自主事業に工夫があるのが良い。 ・地域特性を生かした取り組みや、利用者サービスの向上への取り組みは評価できる。 ・老朽化により修繕が多くなるため、区との調整を密接に行う必要があり、管理者自らも修繕費を積立する必要がある。 ・多くの世代に利用されるための取組が、提案書からは感じられなかった。 ・常に一人の勤務体制には不安がある。 ・第三者評価で、保冷材の準備がないとの指摘がされているが、スポーツ施設なので、応急処置に関する備品は完備した方が良い。 ・館長は、必要に応じてではなく、短時間でも良いので隔日程度は会館で勤務すべきである。

	<ul style="list-style-type: none">・財務状況について、なお一層の収入確保及び経費節減の施策が期待できる。
審議結果	<ul style="list-style-type: none">・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市下野庭スポーツ会館指定管理者の指定候補者とする（566点/800点）。
特記事項	特になし